

# プログラムしてみよう！！

<命令文> これさえわかればプログラムはできる！！

キーボードからの入力を促す	kazu=parseInt(prompt("あなたの好きな数字を入力してください"));	" "(ダブルクォーテーションで囲まれた文字をディスプレイに表示する。 入力された数字をkazuに格納(代入)する。
出力する	document.write(kazu,"はあなたの好きな数字ですね?");	Kazu に格納されている数字と" "の間の文字列をディスプレイに表示する。
条件分岐	if(ans==0){ document.write("偶数"); } else{ document.write("偶数"); }	もし ans という変数が0ならば 偶数とディスプレイに表示する。 そうでなければ 奇数と表示する
場合分け	switch (ans) { case 1: alert("●"); break; case 2: alert("×"); break; case 3: alert("▽"); break; case 4: alert("■"); break; default: alert("◎"); break; }	もし ans に格納されている値が 1ならば ●を表示する (そしてこのルーチンを出る) 2ならば ×を表示する (そしてこのルーチンを出る) 3ならば ▽を表示する (そしてこのルーチンを出る) 4ならば ■を表示する (そしてこのルーチンを出る) それ以外ならば ◎を表示する (そしてこのルーチンを出る)
繰り返し	for(c=1;c<=10;c++){ 処理1 }	c=1のときからc<=10までの間、 処理1行って cを1ずつ増やす
代入する	s=1	変数sに1を代入する
比較する	s==1	S は1である